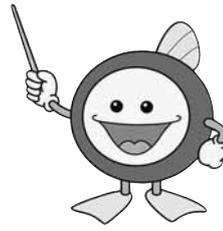


# 9月10日は「下水道の日」です



下水道マスコットキャラクター「スイスイ」

『下水道の日』は昭和36年、著しく遅れているわが国の下水道の全国的な普及を図る目的で「全国下水道促進デー」として始まりました。当時の下水道普及率は6%でした。9月10日に定められた理由は、下水道の大きな役割の一つである「雨水の排除」を念頭に、台風シーズンである210日を過ぎた220日が適当とされたことによります。安平町では、公共下水道の整備を計画的に進めています。『下水道の日』を前に快適な環境づくりを含め下水道について考えてみませんか。

## 下水道の役割

下水道は家庭や事業所などから出される汚水や雑排水を浄化センターで集中処理し、浄化してから川に流します。で川や海を汚すことはありません。豊かな自然環境や大切な水資源を守り、またそれらを未来に残すためにも下水道はなくてはならない施設です。

## 汚水処理と自然環境

私たちは、普段何げなく水を使っています。私たちが使った汚れた水は、どこへ行くか考えたことがありますか。毎日の生活や事業活動によって発生した汚水は、公共下水道や浄化槽できれいな水



湧き水となり、また一部は地表を流れて河川や海へと流れ込んでいきます。そして、海

## 水の循環

水は、太古以来の自然の作用によって循環する流れがつけられています。雨は地下に浸透し地下水や湧き水となり、また一部は地表を流れて河川や海へと流れ込んでいきます。そして、海

## 安平町の水の流れ（公共下水道の場合）

浄水場で水道水が作られる

安平町には早来地区に4か所、追分地区に3か所の浄水場があります。

生活の中で汚水が出る

下水道の民有地内の排水設備は個人の所有物です。自己管理です。民有地と公道の境に設置する「公共ます」は町が管理します。

下水道本管

安平町は雨水と汚水を別に集める「分流方式」です。

マンホールポンプ場

下水道の排水は下水道管にわずかな勾配をつけ、高い所から低い所へという「自然の流れ」を作ることにより浄化センターまで運搬されています。こうした自然の流れを利用している下水道なので、「ゴミや油を流すと詰まりやすく流れを阻害します。また、マンホールポンプ場は勾配だけでは下水管をより深く地中に掘り下げなければならなくなってしまうので、途中で圧力を使って送り出すことにより下水道の位置を引き上げ、適切な管理ができるようになっています。

下水道本管

浄化センター

浄化センターは早来、追分両地区に1か所ずつあります。処理された汚水は安平川に排出され、汚泥は肥料として緑農地に還元されています。安平町の平成20年度の処理汚泥量は約380トンです。

安平川

太平洋